

しい経営環境が続き、30年度に単年度黒字となる見込みである。そのような中、健全な経営の確保と市民ニーズへの対応が大きな課題だが、今後の方針は。

答

今回の増床・増築事業は、地域の中核病院として完結型の医療提供体制を構築し、市民の医療に対する安心・安全の確保に必要な事業である。引き続き、収益の増加や経費の節減に努め、経営の健全性を確保し、病院機能の充実や計画的な人材確保に取り組む。

◆関連質問

・施設整備後の収益予測について
(新政クラブ)

川南土地区画整理事業の今後の予定は

問

本年3月から都市計画変更案などの縦覧が始まり、具体的に事業化に向けた手続きが進められているが、今後のスケジュールや取り組みは。

答

縦覧に伴い提出される意見書は、県の都市計画審議会に諮られる。その後、県が都市計画を変更し、本市は県から事業認可を受ける。今後も、土地区画整理事業の早期事業化をめざして取り組む。

◆関連質問

・川南地区まちづくりについて
(明政会)

木材利用促進の取り組み状況は

問

①法律[※]の施行に伴い、公共施設では内装や備品などに積極的に木材の利用促進を図るものとされているが、本市の取り組み状況は。②持続的な林業を確立するための課題は。



スーパー松が植樹された山林（神辺町）

答

①本市では、保育所、公民

明政会



桑原 正和 議員

市民病院の高度医療機器の整備と駐車場対策は

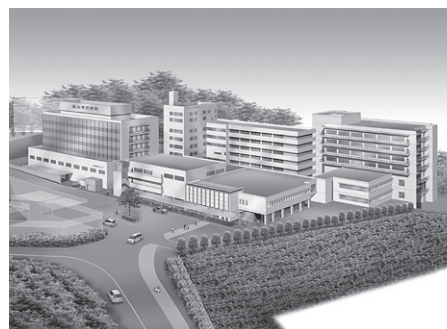
問

増築事業の内容が明らかになった。①がん早期診断のPETを整備する計画だが、導入

館、小中学校の屋内運動場などの公共建築物の内装材や造作材に、積極的に木材の利用を図り、本年度は約207立方メートルを使用した。今後も、木の特性を生かした快適で過ごしやすい空間の創出のため、引き続き木材の利用に努める。②生産コストが高く、生産性が低い現状にあり、木材価格も低迷し、放置された人工林が多く存在している。そのため、本市でも「ひろしまの森づくり事業」による人工林の整備に取り組んでおり、法律[※]に基づく本市の方針策定については、木材利用拡大を視野に置き、引き続き検討していく。

答

①PET・CT装置は、がんの早期発見、早期治療のための先進医療機器で、本年度の診療報酬改定により、早期胃がんを除く全てのがん治療についてPETによる検査が保険適用となったが、県東部地域にはPET撮影施設がない。今後、がん患者の増加が予測されており、地域がん診療連携拠点病院として、がん医療の均てん化に努め、患者の利便性の向上を図っていく。②本年3月末には約250台の立体駐車場が完成する予定だが、西館の増築により実質100台程度の増となる。しかし、今後も駐車需要が増加するこ



市民病院増築事業の完成予想図

に至った背景と今後の活用は。
②来院者の増加に対応した駐車場対策は。

※公共建築物木材利用促進法：国や自治体が公共建築物を整備する際、木材利用に努めるよう求めた法律。